



# 勝浦ロータリークラブ

## 49期 THE WEEKLY REPORTS

2011-2012年度

RI会長 カルヤン・パネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 関 一憲

クラブ研修委員会

勝浦RC 齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会

鋸南RC 三橋 美子

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長 関 正己

幹事 漆原 慎子

クラブ会報委員長

渡邊 昌俊

副委員長

齋藤 麻美子

委員

石井 美香子

渡邊 ヒロ子

### 8月26日(金)のプログラム

#### ・ゲスト卓話

講師：勝浦市教育委員会

教育課長 中村雅明様

### 9月の例会予定

#### ・9月3日(IM特別講演)

講師：北原照久

テーマ：「夢の実現ツキの10ヶ条」

#### ・9月9日(ゲスト卓話)

#### ・9月16日(休会)祭礼

#### ・9月23日(休会)

#### ・9月30日(ガバナー公式訪問)

### 会長挨拶 関正己会長



いろんなことがあるうちに早2ヶ月が過ぎようとしています。

9月になりますと、例会開催は9日の1回、30日のガバナー公式訪問と、非常に少ない例会日となってしまいます。一番に、例会が少なくなりロータリーに対して皆様の意識が希薄になるのではないかと心配しています。

今月は会員増強月間にも関わらず、それに対する議論を交わさないまま過ぎ去るのが残念でなりません。そしてガバナー公式訪問があるにも関わらず、ほとんどぶっつけ本番になるのではないかなと心配しています。その中で最低限備えなくてはいけないことを、早急に整理していかなければいけないと考えております。

まず、クラブ運営の活動方針・計画に対しての進捗状況。そして、長期計画目標についての進捗状況。これらは主に会員増強が主体となってくると思いますが、さらに、会長賞、チェンジメーカー賞などに対しての質問も当然されてくると思います。

2ヶ月が過ぎようとしているなか、幹事に各会員の会合回数状況を把握してくださいとお願いしてあります。それは気になります、会費引き下げをしたから会合回数が減ったということでは困りますので、そういう指示を出しております。

ここに出席している皆さんは全員クリアしているとは思いますが、若干気になるのは会費未納者がいること、出席率の悪さです。忙しいなかでの出席が難しいのは理解できますけれども、大切な時、勝浦で言えば第一例会、ガバナー訪問、地区大会などの振替のときに、特に出席して頂ければなと願っております。そして会費未納者が若干名いるということですが、正確には「未納者」でなく「遅延者」と言った方が良いのかもしれませんが、幹事が期限を切った日から、30日を過ぎても入金がない場合は幹事から催告書が出ます。催告後10日以内に入金がない場合は、退会勧告、身分の終結、これを採決されますので、お忘れの方は早めに納付されるようご注意ください。

## 幹事報告 漆原摂子幹事

1. RIより、9月のロータリーレートは1ドル=78.00円。
2. 前年度地区クラブ奉仕委員会及び広報・IT委員会より冊子「復興への点鐘」配布。前年度地区委員千葉会員のご尽力により、当クラブ関一憲会員と齋藤麻美子会員の文章が掲載。
3. 次週9月2日(金)例会は翌日の前年度IM特別講演へ振替。
4. 9月30日(金)の例会はガバナー公式訪問、会員全員出席をお願いします。

## 委員会報告

### インターアクト委員会 岩瀬文夫委員長

【国際ロータリークラブ第2790地区 第45回インターアクト年次大会】

日時：8月19日午前10時点鐘

会場：千葉県館山総合高校

テーマ：今こそ自然を見つめ直そう

出席者：勝浦若潮高校(水島、荘司インターアクト顧問教師)、インターアクト生徒(長谷川桃、入野美紀、三尾めぐみ)、関正己会長、牧野利美社会奉仕理事、岩瀬文夫インターアクト委員長

【2011~2012年度 インターアクト第二回合同会議】

開催日時：2011年8月23日 14:30~15:20(合同会議) 15:30~16:00(国外研修保護者説明会) 16:00~17:00(国外研修参加者オリエンテーション)

会場：東天紅(千葉市センシティタワー23F)

議題：第45回インターアクト年次大会について、第24回インターアクト国外研修について、第3回合同会議(指導者講習会開催等)について

### 国際奉仕委員会 齋藤麻美子委員長

先日、20日に成田ビューホテルにて、国際奉仕セミナーが開かれました。セミナー内容は、青少年交換委員長より、今年出発した学生の報告がありました。今年は千葉県でアメリカに5名、オーストラリアに1名出発したそうです。

その後、勝浦ロータリーにも来たことのある鴨川ロータリーより留学した高梨亜美さんの原稿なしの30分の素晴らしい留学の報告と、交換留学生制度の必要性についてのお話がありました。

次に来年、5月にバンコクで開催される国際大会参加のお願いがありました。日本からは3,000人の参加を予定しているそうなので、多くの方の参加をお願いしますとのことです。

### プログラム委員会 高梨薫敏委員長

本日は勝浦市教育委員会の教育課長の中村雅明様とALTのアナンド・モーハンさんをゲストとして、来週は館山ベイのIMの特別記念講演に参加の予定です。そして本日例会終了後に、プログラム委員会を開催したいと思いますので、会長、幹事、担当理事、委員の方、そして特別顧問で時間のある方もご参加いただきたいと思いますっております。

## ニコニコBOX

### 配偶者誕生日

#### 中村昇君



8月17日が家内の63回目の誕生日です。元気で頑張っております。ありがとうございました。

#### 鈴木亨君



家内の誕生日祝いを頂きましてありがとうございました。私ども夫婦は、もういつお迎えが来てもおかしくないような歳になってしまいましたが、頑張りたいと思います。よろしく申し上げます。

西川佳璋君

私のところも家内が61歳になりまして、昨年色々ありましたけれども、健康に過ごしております。ありがとうございました。

自主申告手塚明宏君

先日メダカとタニシとエビとおたまじゃくしの入ったボトルを2本いただきました。この暑さだからまいったのかなと思ったら結構元気で、1匹も死なずに生きています。大事に飼いたいと思います。ありがとうございました。

関一憲君

今日は懐かしい気持ちで食事をいただきました。目の前に座った中村さんは、当時私が中学生だった頃に来た先生でした。

もうひとつ、地区大会の記念誌があります。中に田中毅さんの講演などが入っていますので、地区大会に参加された方はもちろん参加されてない方も、今一度読み直して頂きたいと思います。

古川範男君

2ヶ月くらい前ですけれども、日本が生んだ世界的なバイオリニスト・後藤みどりさんのリサイタルを聴いて非常に感動しました。十数年ぶりに聴く、素晴らしいバイオリンの音色で、その時えたことがありまして、音には3種類あるのです。まず音楽家が出す音、それから楽器の音、もうひとつは会場の音。たまたまサントリーホールという素晴らしいホールで、しかも一流の後藤みどり、そして楽器が世界 No.1と言われるグァルネリ・デル・ジェスというイタリアのすごい楽器です。この3つがあったのですから、最高の音が出ている訳です。ここでふとあることに思い立ったのですけれども、このバイオリンは実は、岡山に会社のあったオーナー経営者が買まして、後藤みどりさんに貸していたのです。さて、この会社が今再建中なのです。その再建にたち、何億とするこの楽器を再建の資金とするために「返せ」と言うか、あるいは、これは日本の誇る世界のバイオリニストの後藤さんのためにずっと使ってもらおうという判断をするのか、非常に注目されると思います。どういう決断が出たのか、その後私は情報を得てないのですけれども、依然として後藤さんはその楽器を使って名演奏を繰り返し広げています。

マイケル・サンデルという人が去年大ヒットしたベストセラーの本、「これからの正義の話をしよう」というタイトルでそこに出てきますけれども、そういう問題に直面した時にどういう判断をするか、経済的に割り切ってしまう、あるいは、いろんな議論を起こすか、非常に大きな面白いテーマだと思います。皆さんも、もし会社の再建になったとして、このバイオリンをどう扱ったら良いのか、是非考えて頂けたらと思います。



## ゲスト卓話

勝浦市教育委員会 教育課長 中村雅明様

A L T アナンド・モーハン

アナンド・モーハン挨拶

皆さんこんにちは。私はアナンド・モーハンと申します。アナンドと呼んでください。私はカナダ人ですけど、お父さんはインド生まれ、お母さんはカリブ海、トリニダードトバゴ島生まれです。私は2年間勝浦に住んでいるけど、勝浦に来る前に2年間四街道市に住んでいました。勝浦と四街道はとても違う都市だけど、両方良いところがあります。実は、私はあと1年間だけ日本に住むつもりです。この経験のおかげで、カナダで小学校の先生になりたいと思っています。でも、美人を見つければ日本に住もうと考えています。両方頑張ります。



## 質問

Q) 勝浦の印象について、いかがですか。

A) 最初は東京から遠いので不便で、勝浦をあまり知らないからつまらないかなと思ったけど、今はとっても良いところだと思います。勝浦はデパートやゲームセンターがないけど、勝浦は自然があるし、優しい人がいっぱいいるので、とても良いところだと思います。

Q) 勝浦の不便なところはどこですか。

A) 私は車を持っていませんので、例えばヨドバシカメラに行きたかったら電車しかありません。ちょっと不便だけど、行けるので大丈夫です。

あと、不便なところではありませんけど、みんなは私にとっても優しくしてくれるし聞いて話したいけど、勝浦の日本語は私が習った日本語とはちょっと違います。年をとっている人は「～だっぺ」などよく使うので、「何かな?」と思います。

Q) 勝浦のロケーションで一番好きなところはどこですか。

A) 私は地図を使わずどこでもサイクリングすることが好きなので、乗りながらめがね岩を見るのもきれいだし、守谷海岸も大好きです。

Q) 好きな食べ物は。

A) お好み焼きが大好きです。あと、ゴーヤチャンプルが好きになりました。給食のおかげで、いろんな食べ物を見つけました。

Q) 嫌いな食べ物は。

A) ししゃもといくらが好きではありません。でも外国人はだいたいそうです。プチプチとした食べ物があれば「Pass」「No thank you」と気持ちがなります。あとは、サザエ、納豆。ちょっと難しいけど、納豆は健康のためにたまに食べます。

Q) 勝浦の子ども達は好きですか。

A) みんなとっても優しいです。いつも元気です。たまに元気過ぎるけど…。私が一番好きなのは、子ども達は本当の気持ちを言えるのでとても楽になります。みんな優しいので私は小学校の先生になりたいです。

Q) 趣味、好きなスポーツは。

A) サイクリング、マラソン、ウェイトトレーニング。

## 中村雅明様卓話

資料を2部配りましたので家に帰りましてらじっくり読んでみてください。今日はそこに書いていないことで、教育委員会とは一体何なのか少しだけ説明させていただきます。

教育委員会というのは、ずいぶん昔になりますが昭和31年頃に地方教育行政の組織および運営に関する法律で作られた制度なのです。そして都道府県と市町村に置かれることになっています。教育委員会の組織は、委員長が1名、委員長職務代理者が1名、委員が2名、そして執行部の長としての教育長と、こういう構成になっています。

勝浦市では、ロータリークラブの高梨さんが委員長です。どうしているのかと言いますと、教育委員から長所・短所などいろいろなご意見を頂くということです。重要なことについては、この委員会会議で決めます。例えば4月ですと、中学生海外派遣、そういう事業計画を執行部の方で提案をしたり、あるいは元名木小の解体工事、また学校の耐震化、公民館教室の実施計画、図書館事業など、そういう計画についての議案を委員会会議に出します。そうしますと高梨委員長が進行する訳なのですが、その委員会会議で委員からいろいろご意見を頂きながら最終的に議決をします。

市役所から独立した行政委員会が教育委員会であります。一般的な知識や学識のある方が教育委員になるわけですが、一般の方がやりますので、教育委員会は通称レイマンコントロールと言われています。

テレビなどでは「教育委員会に訴えてやる」ですとか、ずいぶん教育委員会のイメージが良くないという印象ですが、実は私も32年前は勝浦小学校の教諭として採用されたのです。その後は大多喜西中学校、御宿中学校、そして21,2年前に勉強不足だということで、県の教育委員会の方に飛ばされました。そこで15年。そしていろいろあって今年の4月、勝浦市の教育委員会に帰らせて頂いたのですが、非常に勝浦は素晴らしいなと思いました。

勝浦市の子どもの減少というものがあります。現在、幼稚園が55名、上野小が79名、興津小81名、清海小67名、勝浦小311名と、30年前の約2分の1になっております。郁文小48名、豊浜小59名、総野小86名、北中95名、興津中95名、勝浦中223名、と昔で言えば1学年にも満たない生徒数となっております。平成23年と比較しますと平成29年には、勝浦全体で小学生が約100名減るということになりま。中学校に至りましては、中学生は現在3中学校合計しますと413名、平成29年には324名ということで、約90名減ってしまいます。

学校の児童数の減少ともなって、小学校や中学校が統合をしております。

郷土を愛するという部分で、少し説明させていただきたいと思います。市内の小中学校では、地域の自然や伝統を守る指導、あるいは地域に学び郷土を愛する生徒、これそのものを目標にしている学校もあります。どうしてこのようになるのかと言いますと、将来自分の生まれ育った勝浦に残ってもらって、地域の活性化や最善を目指して働く若者を育てるという目的です。勝浦市教育委員会では、昨年度、勝浦市の教育研究会の協力によりまして、関係者で構成する、郷土を愛する心を育てる教育の推進会議を発足しました。地域に伝わる民話、そういうものを国語の題材として扱って、しかも民話の議事にして発表する実践例ですとか、勝浦の歴史や文化、特産物、観光名所、郷土出身の偉人など、こういった事について、現在「総合的な学習の時間」というものがありますので、そういう時間に調べて発表するというのもやっています。市内の各小中学校では、受け継がれてきた伝統や文化、身近な地域の歴史、そういうものを調べるのですが、さらに勝浦の方言や勝浦に伝わる獅子舞、関西漁民との結びつき、東周りの航路の発展にともなう船台との結びつき、朝市の歴史ですとか、郷土を愛する授業のなかで実践しています。そのほか、国際武道大学と連携して、例えば勝浦中学校はプールがありませんので武道大学へ行って専門の方に指導してもらっているとか、あるいは、上野小学校、興津中学校、北中学校の部活動など、武道大学の生徒にサポートをしてもらっているとか、またPTAの方が学校に非常に協力的で、いろんな環境整備作業、あるいはボランティアで読書の読み聞かせに来てくれたり、安全パトロールをやってくれたり、と本当に勝浦の地域の方々に勝浦の教育は支えられているのだなと感じております。

**出席報告 8月26日(金)**

**出席委員会 手塚 明宏 委員長**

会員	出席	MU	欠席	出席率
38名	25名	2名	11名	71.05%

欠席：浅野玄航、石井美香子、内田秀実、小林悠紀、斎藤義典、高山裕紹、林重利、前田安彦、吉野裕子、渡辺保、渡辺幸男